

来年の予備試験合格のために、今から何をすべきか

辰巳専任講師・弁護士
柏谷 周希 講師

第1 予備試験で求められる能力とは？

- 1 予備試験は、法曹実務家登用試験
- 2 法曹実務家の職務は、未知の事件を処理すること
- 3 よって、予備試験では、事件処理能力が求められる

第2 事件処理能力とは？

1 基本的知識（既知）

- (1) 判例・通説の法解釈・要件事実・事実認定の知識
- (2) 予備試験・司法試験の過去問の知識

2 法的思考能力（未知の問題を既知の知識で解決する思考能力）

- (1) 問題文分析能力
- (2) 法解釈能力

3 起案力（時間内に答案を作成する力）

- (1) 形式的起案力（読みやすい構成、文字で答案を作成する力）
- (2) 実質的起案力（出題趣旨に沿ったメリハリのある答案を作成する力）

第3 予備試験合格に向けての心構えや学修において注意することとは？

1 合格に必要な心構えとは？

⇒相対評価の試験であることを意識すること

2 学修において注意することとは？

- (1) ライバルの受験生が知っている知識（既知）は絶対に落とさない
- (2) 細かい知識や難しい問題は学修しない

∴他の受験生が間違える問題は間違えても合否に影響しない（赤信号みんなで渡れば怖くない）

第4 学修法

1 短答式

- (1) 基本的知識（肢を読めば思い出せる程度の既知）
例）司法試験合格開眼塾 TL 編（聴いて聴いて聴きまくる）

- (2) 法的思考能力（既知から発想して未知の肢の正誤を判断する能力）
例）予備スタ短（解いて解いて解きまくる）
過去問（解いて解いて解きまくる）

- (3) 起案力（時間内に間違いなくマークする）
例）予備スタ短（解いて解いて解きまくる）

2 論文式

- (1) 基本的知識（論証が書ける程度の既知）
例）司法試験合格開眼塾 TL 編（聴いて聴いて聴きまくる）
予備開眼塾（自分で検討して，講義で学ぶ）

- (2) 法的思考能力（既知から未知の問題を解決する能力）
例）司法試験合格開眼塾 TL 編（聴いて聴いて聴きまくる）
予備開眼塾（スタ論を解いて，講義で学ぶ）

- (3) 起案力（答案作成能力）
例）予備開眼塾（スタ論を解いて，スクラップでライバルの答案を知る）

第5 最後に

⇒予備試験は決して難しい試験ではない。BUT，誤った非効率な学修では合格できない。
⇒正しいインプット，正しいアウトプットを心がけ，来年の合格を勝ち取っていただき，再来年には司法試験に合格していただきたい

以 上